

「合気道龍指導部会」 定期刊行新聞

# 「飛龍乗雲」

ひ りゅう じょう うん

発行所：合気道龍指導部会

編集人：三橋 亮

## 「第12回 市原市合気道 演武大会」開催



11月4日（月・祝）にゼットエー武道場（千葉県市原市）にて、龍市原市合気道連盟主催による「第12回市原市合気道演武大会」が開催されました。今年から龍全国連盟の後援が強化され全国の団体が招待されたことにより、コロナ禍の中での規模縮小を経ての久々の3会場に分かれての大規模な大会となりました。主管団体である蒼龍の会員が約90名、賛助演武団体が180名、来賓も合わせると過去最多の約280名が参加されました。

午前中の小学生以下を対象にした「龍千葉県連盟錬成大会」では、堀田晃正師範（龍建速）、片桐実里師範（光龍館）、鈴木綾馬師範代（龍葵）の3名の講師による、段階別に分かれて15分ごとに先生が交代する、子供たちが楽しみながら取り組むことが出来る講習会が行われました。



午後から行われた演武大会の開会式では三橋亮師範による主催者挨拶、龍全国連盟の川島鉄志副会長（西葛西道場代表）と衆議院議員 岡島一正氏、実況アナウンサー鍵野泰加彦氏による祝辞の後、蒼龍代表の三橋亮師範による指導師範演武で始まりました。各団体の少年からシニアまでが団体・クラスごとに分かれ、日頃の稽古の成果を十分に発揮された演武を見せてくれました。

大会の後半は各クラス・団体の先生方による指導者演武・模範演武があり、見ごたえのある技の数々が披露されました。最後の安藤每夫師範による解説演武では、ダイナミックな技にユーモアが加わった演武で観客と一体となった終了致しました。閉会式の講評では、市原市議会議員 保坂好則氏（蒼龍顧問）が感想と祝辞を述べ、花を添えました。